

美浜町内をデモ行進



原発の新設に抗議するため、関西や福井の人たちが美浜原発や関電原子力事業本部前に30人を超える人たちが集まり抗議集会を行い、その後町内をデモ行進しました。私は

原子力事業本部とデモ行進に参加しました。

原子力事業本部前では、シュプレヒコールから始まり関電への申し入れ書を読み上げました。そして参加者から次々とアピールがありました。

発言の内多くは、2004年に起きた美浜原発3号機二次系配管蒸気噴出死傷事故後に原子力事業本部正面に掲げられた『「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」の行動のもと、会社を挙げて安全文化を築き上げます。』という言葉にかみつくものでした。

「安全」と「使命」という空虚な言葉を非難するもの

「原発増設を許さない! 緊急行動」

関西、福井より結集

11月10日、美浜原発の新たな原発建設の蠢きに抗議!

老朽原発
うごかすな!
ニュース

第153号

発行・老朽原発うごかすな!
実行委員会

[連絡先]
090-1965-7102

この日最初に、美浜原発前で、抗議行動



でした。

私は、美浜原発の周辺には活断層が多く存在し危険な場

やめろ! 地質調査@美浜

関電はこともあろうに11月5日から、美浜原発の新設に向けた資材を搬入し、10日から地質調査をすると発表しました。

東日本大震災後、原発の新設をするのは関電が始めてです。地震多発の日本に地震に脆弱な原発の新設は許される

デモ行進の終点である美浜町役場で、美浜町に対し、「新增設調査を認めるな」や「原発止めて再生可能エネルギーに転換せよ」と訴えまし

所であることはすでに分かっているもので、調査する意味がない。それにも拘らず調査するのは、安全と思われるデータだけを示し、原発を建設するためのものと発言し、三陸沖で起きた地震ではテレビのニュースで女川原発は異常なしと報じたことに対し、地震が起きたら必ず原発のことを伝えるのは原発が危険なものとの裏返しである。安全というなら原発をやめるべきとも訴えました。

た。

実行委員会の木原さんは、「原発運転してきて美浜町は幸福になったのか」と問いかけ、再生可能エネルギーで町おこしをすべきと訴えられました。

福井県は今まで原発運転の先頭を走らされ続けてきました。今また、福島第一原発事故後の新・増設の先頭に立たされようとしています。そんな今だからこそ、声をあげるこの大切さを強く思います。よろしくお願い致します。

ともに闘わん!

(福井県若狭町
石地 優)

ものではありません。活断層が多数あります。わずか4日間の呼びかけにもかかわらず、福井、兵庫、大阪、京都、滋賀から30名が結集しました。

高市新政権は、原発と軍備を進め、電力会社、原発関連企業の延命に暴走しています。さらに政府は、原発の地質調

査から原発建設まで20年間支える、電気料金から支払われる制度(長期脱炭素電源オークション)を2024年1月から実施し、関電や電力会社は、軒並み原発の再稼働や新設に動き出しています。

高さ3メートルの「反原発」の旗のポールがしなる強風の中、関電の美浜原発ゲート前と関電原子力事業本部前で抗議行動が続きました。

参加した皆さんは「老朽原発うごかすな！」の幟や「反原発」の旗を持ち、体ごと吹き飛ばされそうになる程の強風にも負けず、「関電は原発の新設をやめろ！」「調査は不要 活断層は存在するぞ！」「地震列島に原発建てるな！」と満身の怒りを込めて、関電にシュプレヒコール。続いて、



美浜町当局を糾弾する木原さん

11月10日、4号機増設に向けた地質調査が始まるという報道を受けて、美浜原発前及び関電原子力事業本部前での抗議行動に関西各地、福井から30名が結集した。

原発増設をゆるさない！緊急行動に起つ やめろ！ボーリング地質調査

建設予定地の美浜原発周辺には多数の活断層が存在し、大地震が起これば、原発はひとたまりもありません。東日本大震災や、昨年1月の能登半島地震を教訓とするなら、地震大国・日本で原発の新増

設に、「美浜原発の新設に向けた地質調査開始に関わる申し入れ」読みあげました。参加者や地元の方の発言に「今年の5月17日、台湾は原発ゼロになった。アジアの人達は日本を見ている。福島原発事故を経験した日本が、原発をうごかし続けている。日本はアジアの悪い見本になっている。恥ずかしい、悲しいことだ」と訴えました。さらに美浜町内のデモ行進に続き、美浜町役場前で「美浜町は関電の原発の新設を許すな！」「原発に依存しない町づくりを！」と訴えました。

今こそ、目に見え、耳に聞こえる行動で、人の命と尊厳が大切にされる社会を目指しましょう。

11・30「原発を続けるための乾式貯蔵NO！全国集会@高浜」使用済み核燃料の行き場はないぞ！にご支援、ご参加をお願いします。

(若狭の原発を考える会 木戸 恵子)



美浜原発前で訴える福井の林さん

設などあり得ない暴挙です。

福島事故以来帰宅困難地域である浪江町は、原発から20キロといわれていますが、琵琶湖は、美浜原発から30キロ圏のすぐそこにあるではないか！大事故が起これば、関西一円の飲料水が汚染されます。これ以上の原発建設に断固反対する。

地質調査後、2030年頃

原子力事業本部に対し、怒りの抗議行動



ていることに注目しよう！
(若狭の原発を考える会 小林 正明)